

# 「平家の落人伝説を歩む④」

今月は、「大根占町誌」や毛下自治会の方からの情報をもとに制作しました。

今月は、先月に引き続き池田地区を歩んでみたいと思います。半ヶ石集落の釘田家には、敷地内に氏神や陣笠など今でも大切に保管されています。半ヶ石集落は釘田家を中心に田畑が広がっており、水も豊富でおいしい米ができる場所としても知られています。また、昔は酒を造る手法もあり、この時代に色々な技術も伝わって来たのではないのでしょうか。



釘田家の氏神

この半ヶ石より分かれさらに西方約4km山奥の地に進み、武装を解き、頭髪を落として百姓姿に変装した地があります。現在の毛下集落にあたります。

現在、集落の北方亀石ヶ迫に元屋敷と言われる台地があり、落人最初の居住屋敷跡であると伝えられています。昔は禅宗の寺があったそうですが、いつか荒廃し住居も南方約500mの場所に移転しましたが、昭和13年の肝付大水害で地形も変わり、昔の面影はなくなると付近の人は語っています。また、山林の中に無銘の墓石が二基あり、寺跡には宝物が埋めてあるとも伝えられています。

昔は、平家の子孫として毛下姓が五家あり祖先相伝の文書及び青銅の鏡鑑がありました。現在

不明になってきているものも多いようです。

また、火災により集落が全焼したため古文書などは全部焼けましたが、鏡をご神体にした氏神が残っています。鏡の裏面右方に「平」の刻印があり、平家の子孫を証明する遺品として伝えられています。

現在毛下自治会は9世代17名の集落となっていますが、鍛冶屋跡や屋敷跡、供養塚や杉宮の伝説など数多くいわれが残っています。



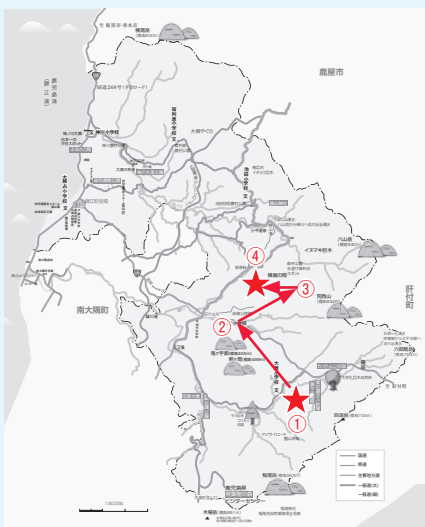
毛下家に残っている青銅の鏡

ていることから、多くの方が住んでいたのではないかと伺えます。

池田地区には毛下集落と同じく、半ヶ石集落から分かれた段中野集落があります。

次号は池田地区の毛下集落から段中野集落方面へ歩んでみたいと思います。

平家の落人伝説にまつわる伝説や史跡などありましたら、情報提供をお願いいたします。



錦江町の歴史や言い伝え、昔の遊びや行事など、特集を組んで取り上げて行きたいと思います。町史や各資料より調べ掲載していきますが、掲載した内容と違う見解の資料などありましたら、錦江町役場企画課広報へご連絡下さい。錦江町の歴史や文化をひも解き、観光や地域づくりに繋げて行きたいと思います。また、個人でお持ちの歴史的資料や写真、言い伝えなどありましたら、取材や調査に行きたいと思いますのでご連絡下さい。

【問い合わせ先】 錦江町役場 企画課 Tel 0994-22-3032